

カスタム SayItSmart プラグイン クラスの配置場所

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、SayItSmart のカスタム プラグインのクラスを導入する必要があるディレクトリについて説明します。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Call Services, Universal Edition、および Cisco Unified Call Studio, Universal Edition に基づいています。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

症状：開発者は、Javaを使用してカスタムSayItSmartプラグインを作成し、プラグインをCisco Unified Call Studioで使用できるようにするために、コンパイルされたクラスファイルを配置する場所を知る必要があります。

解決策：カスタム要素と同様に、カスタムSayItSmartプラグインのコードは、クラスの場合はアプリケーションのdeploy/java/application/classesフォルダに、JARファイルの場合はdeploy/java/application/libフォルダに入る必要があります。これらのクラスがリロードされていることを確認するには、必ずcallflowを閉じて再度開いてください。

または、複数のアプリケーションで新しいSayItSmartプラグインを使用する場合は、クラスまたはJARファイルをAUDIUM_HOME/common/classes（またはlib for JARファイル）と次のフォルダに保存する必要があります。

- Cisco Unified Call Studio 5.xユーザ

- : eclipse/plugins/com.audiumcorp.studio.library.common_5.2.0/classes (またはlib for JARファイル)
- 以前のCisco Unified Call Studioバージョン
 - : eclipse/plugins/com.audium.studio.common_x.x.x/classes (またはlib for JARファイル)。
 - x.x.xはバージョン番号

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)